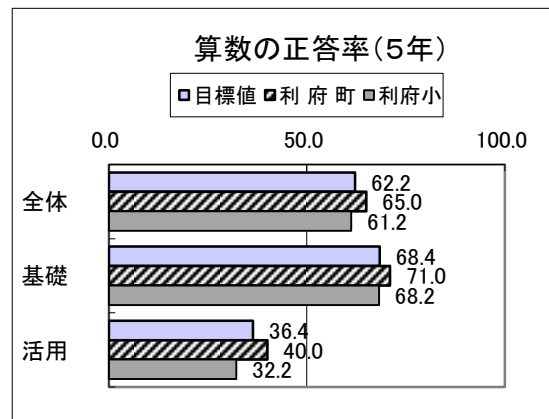
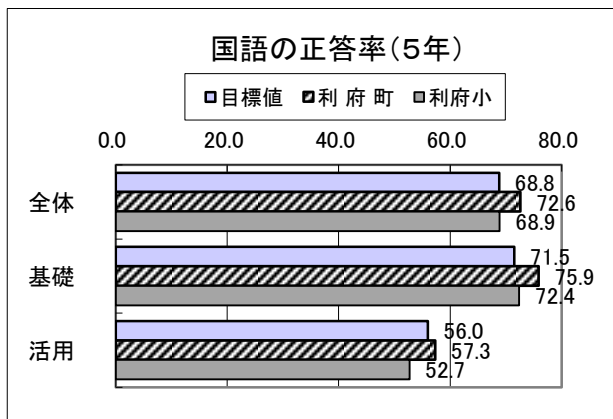


平成30年度 標準学力調査の結果とこれからの取組（5学年）

2学期末に行われた標準学力検査の結果と今後の取組についてお知らせいたします。また、児童には一人一人に検査の結果と学習のポイントが書かれた個人カードを配付いたしました。ご家庭でも学習への取り組み方等についてお子さんと話し合い、励ましの言葉をかけていただければと思います。

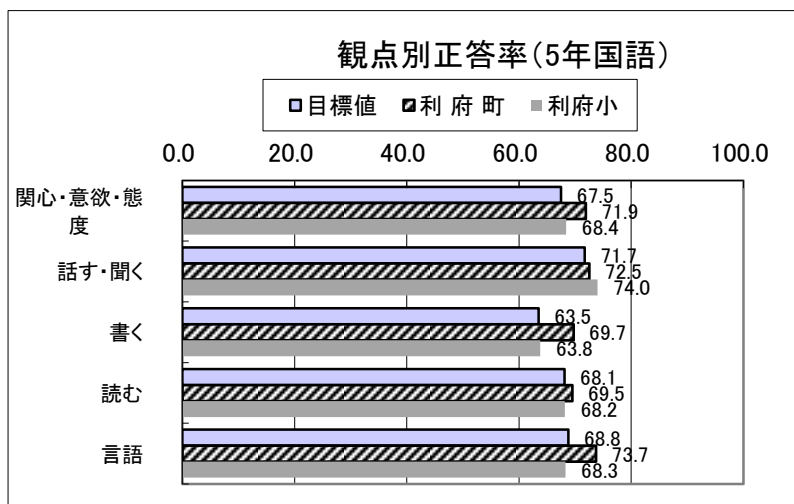
学年全体の結果から

目標値とは、データに基づいてこの数値まで到達してほしいラインを表したものです。実際の正答率とは異なりますが、およそ全国平均の数値と近いもので、結果を比較する目安となる数値です。



- ・ 国語については、全体で目標値を0.1ポイント上回り、ある程度の学習内容が身に付いていることが分かりました。
- ・ 算数の学習については、全体では1.0ポイント目標値を下回っています。基礎では0.2ポイント下回り、活用では4.2ポイント下回っており、身に付けた基礎を生かして問題を解決する活用する力が不十分であることが表れています。

【国語】 ◎ よくできていた点 ● 課題としてあげられる点



◎ 第5学年の配当漢字を読む問題の正答率が高くなっていました。

◎ 指定された文字数や2段落構成で文章を書く問題がよくできていました。

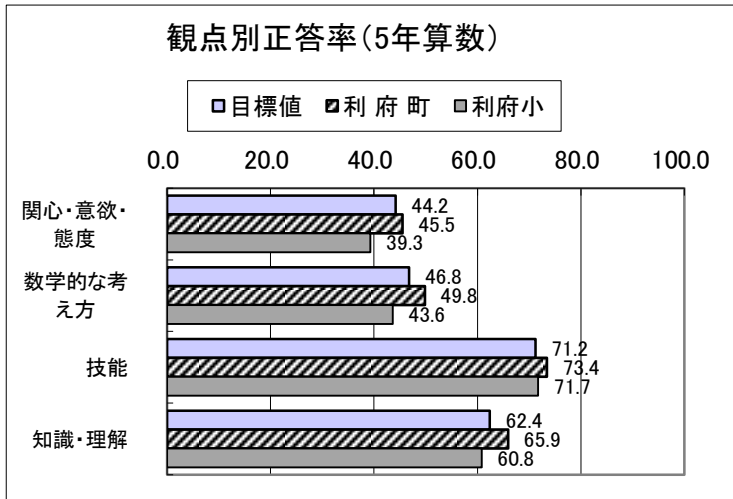
● 第4学年の配当漢字を書く問題の正答率が低くなっていました。

● 同音、同訓の漢字を使い分ける問題の正答率が低くなっていました。

【算 数】

◎ よくできていた点

● 課題としてあげられる点



◎ 小数のかけ算やわり算の問題がよくできていました。

◎ 問題の場面を理解し、立方体の体積を求める問題の正答率が高くなっていました。

● 問題の場面を理解し、倍数や公倍数の考え方をを使って説明したり、答えを求めたりする問題の正答率が低くなっていました。

今後の取組

- ☆ 国語の漢字については、授業や宿題で繰り返し復習し、定着を図っていきます。また、既習の漢字を日頃から使って文章を書く習慣を身に付けることができるよう指導していきます。
- ☆ 算数では、問題をよく読み、分かっていることと求めることを明確にし、図や数直線などに正しく問題場面を書き表し、理解する力を高めていきます。
- ☆ 自分の考えを、式や言葉を使って書くことができるよう、記述式の問題に取り組んでいきます。
- ☆ 日々の学習については、計算スキルやプリント等でできなかったところをそのままにせず、再度取り組むことで、学習内容の定着を図っていきます。

個人票『あなたの結果』の見方

① 教科正答率 (%)

すべて正解の場合は100.0%になります。「あなた」の欄のお子さんの数値と目標(到達してほしい数値)を比較しておおよその目安としてください。

右側の児童のみなさんへの文章をお子さんと一緒に読んでみてください。

② 内容別の正答率

国語と算数それぞれの問題の内容別にお子さんの正答率を表しています。評価は目標値との比較により、3段階で表されています。特に▲は、内容が十分に身に付いていないことを表します。

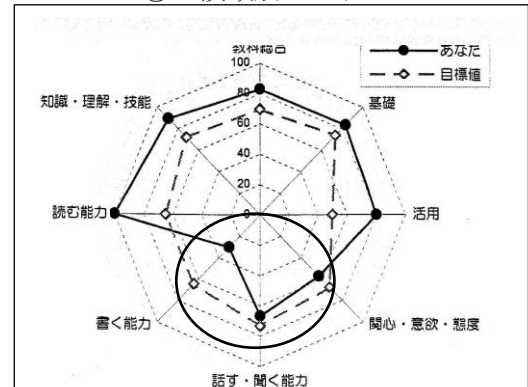
表の下にはお子さんへのアドバイスが記述されています。自主学習に取り組む際の参考としてください。

(例) 小学校1年 さんすう

問題の内容	正答率 (%)		評価
	あなた	目標値	
20までのかず	80.0	82.5	○
たしざん	87.5	77.9	◎
ひきざん	65.4	81.4	▲
▲の評価であるひき算の学習が十分に身に付いていないことがわかります。			
総合	78.5	79.5	○

※詳しくは、個人票の裏面をご覧ください。

③ 領域別のグラフ



『目標値』より内側の値(○の中の部分)は目標に届かなかったことを表します。